

代表質問

平成23年10月28日

たかしま21



大日 翼 議員

高島市の原子力防災対策室の目指すものは

問 国内原発のあり方について「当市は、将来的に廃止か脱原発なのか、原発容認なのか、いずれの方針なのか」の多くの市民の声に対して、市長の考えを問います。

答 市長

国民、市民の生命と健康を守ることを考えれば、将来的には原発は無くしていく方向を持つべきであります。また短期的には国の責任で安全対策を強化し、安全基準を確立して再稼働に国民の理解を求めることが必要であると思っています。ただ廃止に伴う雇用や国内産業への影響が大きな課題でもあります。

問 原子力防災に対する関心が市民の中で高まっています。そこで

新たに設置された原子力防災対策室について役割・設置目的・期



毎日放射線量の測定をする原子力防災対策室職員

待について市長の考えを伺います。

答 原子力災害に備えて、地域防災計画の見直し、万一の災害に備えた市民の避難計画の作成や、安全協定、モニタリングポストの設置、災害時の情報伝達の徹底等を事業者等に働きかけること等が役割や目的であります。今回の原発事故により安全神話が崩れ原子力災害による放射線の影響が広範囲に及ぶことを目のあたりにし、市民の生命や健康の安全を考えると原子力防災対策室の果たす役割は非常に大きいと考えております。

問 高島市・長浜市・米原市・彦根市の4市長連名で電力事業者に安全協定の締結等の申し入れをされましたが、その後の進捗状況と安全協定に対する市長の考えを問います。

答 今後、市長会、県

とも連携しながら事業者との協定締結のための協議を進めます。

高島市の活性化策は

問 現状の課題について市の総合計画の見直しをする中で、どのように認識し、どのような計画のもとに進めようとするのか、市長の考えを問います。

答 「びわ湖源流の郷たかしま」をキーワードに地域の魅力や地域力を計画に掲げている5つ全ての分野で活かし、実効性を高めていくため、これからの5年間のまちづくりを各分野の施策方針として定めて進めてまいります。

市長マニフェストについて

問 市長マニフェストの自己評価を公表するべきと考えますが、市長の考えを問います。

答 自己評価の公表については、どのような形が望ましいのか検討してまいりましたが、一つの方法として、市の広報誌やホームページの掲載を考えています。



小島 洋祐 議員

高島公明会

森林セラピー「びわこ水源の森案内人」の現状と効果について

問 森林セラピーとは、森林環境の有する、自然が彩なす風景や香り、音色や肌触り、生命力などの五感を通して感じたり、森林環境の気候や地形、立地などを効果的に活用したりすることによって、人々の心と身体を健康維持・増進を図るものとされています。平成20年4月に森林セラピー基地「びわこ水源の森たかしま」として認定を受け、現在市内には「森林公園くつぎの森」「県立いきものふれあいの里」「家族旅行村ピラデスト今津」「マキノ高原」の4つの施設に5つのセラピーロードを有し、市内外からの誘客を図っていると

ろです。そしてその森林空間をより快適に過ごしていただくためのガイド役「びわこ水源の森案内人」の方々がおられますが、その現状と効果について伺います。

答 市長

「びわ湖源流の郷たかしま」にふさわしいセラピープログラムの開発に取り組ま

現在本市では、所定の講座を受講いただいた45名の方々に「びわこ水源の森案内人」として任命し、各種プログラム

の提供や利用者の方々のガイド業務を担っていただいております。特に、最近の

健康や癒しブーム、森林環境等への保全意識の高まりから、県内外の企業や団体からの問い合わせも増えてきており、森林セラピーの基本である人間の「五感」を活かしたりラックス方法の体験や満足

いただける「癒し」効果を実感していただくためには、専門的な案内人の養成と支援は欠かせないものと考えております。

問 森林セラピーを事業として成立させるためには、マーケティングの視点から考えていく必要があると考えます。それぞれのセラピーロードにおけるマーケティングを、どのよ

うに捉えられているのか伺います。
答 今後のマーケティングにつきましては、地域食材との組み合わせや遊び・体験、メンタルヘルスケアなどとの組み合わせによる滞在型観光パッケージの開発等、積極的な取り組みを進めていかなければなりません。

と、基地となる各施設のHPやパンフレットに掲載し広くPRを行っています。また、観光協会とも連携しながら、市内観光のお客様からの問い合わせや旅行会社への営業活動、企業誘致や特産品販売における企業・大学等

の訪問の際にも積極的にPRを行っております。今後、先人が残された地域資源を大切にしながら、市内経済の活性化が図れるよう一生懸命努めてまいります。

問 私は今日まで森林セラピーの認定を契機に観光振興の視点から市内外への誘客を図り、

観光協会との連携による売り込みが大事であると考えます。パンフレット等を含め、どのような形で啓発に取り組まれているか伺います。
答 森林セラピーの広報につきましても、市のHPはもちろんのこ



「びわこ水源の森案内人」による癒しのセラピーロード

その他の質問

◆高齢者が生きがいを感じる社会について